

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800070
事業所名	グループホームたなお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 事業所では「介護が必要となっても生活者として地域で暮らし続ける」ことを念頭に、東屋のある公園や神社の清掃を利用者とともに取組んでいます。地域活動の中で担当してきた住民が高齢になり草取りなどが困難になってきた折で、町内会長からも「たなおさんがやってくれて助かるよ」と声があがっています。丁度コロナ禍でもあり、外部の人とのふれあいはなくとも地域に貢献できているとの意識は職員育成にも実る取組みです。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 運営推進会議は、行政、町内会長、市議会議員、家族をメンバーに隔月開催が叶っていますが、コロナ感染対策の一環でこれまで数回書面開催となっています。「感染源になってはいけない…」との考えから、家族参加が減った事は残念ですが、事業所では通信や手書きの便り、運営推進会議の議事録などこれまでの取組みにプラスαとしてスナップ写真を個別に届け、家族の気持ちに寄り添っています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 市役所からは隔月の運営推進会議へと出席を得ており、管轄部署とは定期的に会話ももっています。更に管理者が認知症初期集中支援チーム員であるほか、チームオレンジや家族会のサポート、第9期の介護保険計画の策定委員を担い、日頃から行政とは密に連携が図れています。また今10月より認知症伴走型支援事業を市の委託事業として開始する運びとなり、ますます社会システム構築の立役者として期待されています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 感染を気にして訪問を控える家族も見られますが、事業所では基本的な感染対策が成されていれば面会の制限はしていない為、コロナ禍以前と変わらず家族からの要望や意見は随時受け止めることができています。利用者については散歩や入浴など1対1となれる場面を大切に、思いを確認しています。近くの寺院へのお参りや買い物など、個別外出も職員が時間を工夫して実現させ、また普段の生活では選択肢を用意して、利用者の自己決定を支援しています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								